

研究機関名：東北大学

受付番号：	2009-404、2010-363
研究課題名	アルコール性膵炎の疫学調査と発生要因に関する症例対照研究
研究期間	西暦 2010 年 12 月（倫理委員会承認後）～ 2015 年 12 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 調査票 ）
上記材料の採取期間	西暦 2010 年 12 月～2015 年 12 月
意義、目的	<p>急性膵炎は、良性疾患でありながら重症化した場合の致死率はなお高く、治療には膨大な医療資源を要する。また慢性膵炎患者の末期には栄養障害や糖尿病などが主な病態となり、患者の QOL を悪化させるばかりでなく、各種悪性疾患の併発率も高く、生命予後も悪化する。これまでに膵障害の疫学調査は数多く行われているが、アルコールに注目し、飲酒の側面から急性膵炎の重症化や病態の特徴、慢性膵炎への移行率、移行に与える要因や、禁酒、飲酒継続による患者の長期予後などを解析した調査はない。飲酒の膵障害の病態に及ぼす影響を明らかにすることは、医学的、社会的に国民の健康を長期的に改善する手立てを考えるうえで意義が大きいと考えられる。そこで、酒の種類や量など飲酒の形態や喫煙などと膵炎との関連を検討することを主な研究目的とし、急性および慢性膵炎の症例対照研究を計画した。</p>
方法	<p>日本消化器病学会認定ならびに関連施設を 2006 年 4 月 1 日以降、受療した急性膵炎・慢性膵炎の患者ならびに対照患者（以下記載）を対象とする。調査は 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015 の各年度に行われ、調査の前年度（例えば 2010 年度の調査では、2009 年度）まで各施設を受療した患者を対象とする。各施設において個人情報管理者のもとで連結可能匿名化を行い、その後の照会、調査票の記入は匿名化された形で行うものとする。各施設の担当医は、調査票に施設名、診療科名、病名と、その成因・重症度、年齢、性別、既往歴、飲酒歴、生活歴、家族歴、合併症・後遺症とその治療の有無、検査結果について記入し、東北大学大学院消化器病態学分野内事務局に送付する。対照は症例と同一病院を受診した膵炎以外の患者から、症例と性、年齢（±5 歳）、初診年月日（±5 年）を対応させ、症例 1 例に対して 1-3 例を設定する。対応表は各施設で厳重に管理する。</p> <p>本研究は、厚生労働省科学研究補助金「わが国における飲酒の実態把握およびアルコールに関連する生活習慣病とその対策に関する総合的研究」（研究代表者 樋口 進）による調査研究の一環として行われる。研究代表者である樋口 進ならびに研究協力者である下瀬川 徹が実施責任者として統括する。調査票の収集・管理・データ解析の実務は東北大学病院・消化器内科の正宗 淳により行われる。</p> <p>なお、本調査への参加を希望しない場合は、通院施設に申し出ることにより、研究対象者となることを拒否することが出来る。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	厚生労働省科学研究補助金 「わが国における飲酒の実態把握およびアルコールに関連する生活習慣病とその対策に関する総合的研究」（研究代表者 樋口 進） 研究協力者 下瀬川 徹（事務局） 東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1 番地 1 号 電話 022-717-7171